

うさぎとかめ

あるところに、とても足の速いうさぎがいました。うさぎは、動物の仲間とかけっこをするのが大好きです。

「おい、みんなー！ 今日（きょう）も走ろうよー！」

うさぎが呼ぶと、たくさん友だちが集まってきました。そこへ最後にやってきた動物がいます。それは、ゆっくりゆっくり歩く、かめでした。うさぎはかめを見て、びっくりしました。

「かめくんったら、なんて足（あし）が遅（おそ）いの？ そんなんじゃ、日（ひ）が暮（く）れちゃうよ」

うさぎがそう言う（い）と、かめは、むっとしました。

「それじゃあ、ぼくとかけっこをしようよ。きっと負（ま）けないよ」

かめが誘（さそ）うと、うさぎはおなか（なか）を抱（かか）えて笑（わら）います。

「あっはっはっ！ かめくんがぼくとかけっこ？ いいとも、ぼくが負（ま）けることなんて絶対（ぜったい）にないよ」

そしてかけっこの当日（とうじつ）。位置（いち）に着（つ）いた二匹（にひき）は、はじまりの合図（あいず）でかけっこを始めました。

びゅん！ と、うさぎが走（はし）っていき、あっという間（ま）に見えなくなりました。かめはというと、ゆっくり、ゆっくり、歩（ある）いています。

「かめくんのやつ、追（お）いつきっこないよ。はーあ、走（はし）るのにも飽（あ）きてきたな！」

後ろ（うし）を振り返（ふ）ったうさぎは、全（ま）くかめの姿（すがた）が見（み）えないのであくびをしてしまいました。

「なんだか眠（ねむ）たくなってきたな。よし、あそこ（あそこ）でお昼寝（ひるね）しよう！」

そして、大（おお）きな木（き）を見（み）つけると、その木陰（こかげ）ですやすやと眠（ねむ）り始めてしまいました。

その頃（ころ）、かめはえっちらおっちら、ゆっく（す）り進（つづ）み続けていました。

1時間（いちじかん）たち、2時間（にじかん）がたち……。日（ひ）も暮（く）れてきています。しかし、かめは木陰（こかげ）で眠（ねむ）っているうさぎを見（み）つけました。

「おや、こんなところでうさぎくんが寝（ね）ている。よし、この間（あいだ）にゴールしよう」

さて。うさぎが目を覚ますと、辺りは真っ暗。

「しまった！」

あわててかけっこに戻ろうとしますが、なんと今にもかめがゴールしそうではありませんか！

「ま、待ってくれー！」

うさぎは追いつこうと、力いっぱい走ります。でも、間に合いませんでした。

結局、勝負はかめの勝ち。二人は原っぱの上で休憩をしながら、握手をしました。

「ほらね。ぼくが勝つって、言ったでしょう」

「ごめんよ、かめくん。」

うさぎがかめを馬鹿にすることは、もう二度とありませんでしたとさ。